

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

ブライダルビューティ専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行います。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordで表現力のある文書を作成することができる 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける プレゼン資料を作成できる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版 1年次使用)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	iPadでお礼状の作成	お礼状の作成			
第2回	2	Gmailとドライブ活用	メールの作成 添付ファイル Googleドライブの活用			
第3回	3	表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	表現力のある文書の作成	Word 図や図形を活用した文書の作成			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果 アニメーション効果 印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル 関数 表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用 ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	招待状を作成しよう	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	試験対策	Word 試験対策			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振り返り			
初回持ち物	iPad、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	Word、Excel、PowerPointの応用機能の学習して、活用方法を学びます。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	罫線を活用してカード作成	Word 差し込み印刷 予約カード作成			
第3回	3	作表とワークシートの操作	Excel 予約表作成、ワークシートの操作			
第4回	4	プレゼン作成	PowerPoint復習			
第5回	5	画像の編集と加工	Officeのフォトレタッチ機能			
第6回	6	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第10回	10	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第11回	11	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 宛名ラベル作成			
第12回	12	試験対策	Excel 試験対策1			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策2			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と後期の振り返り			
初回持ち物	USB、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フレッシャーズスキル		クラス名	R2E		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		宮崎 愛子					
		実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要		1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標		・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし（適宜プリントを配布）					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える		私たちはなぜ働くのか／マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント		「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3			怒り感情のコントロール方法（自己理解）			
第4回	4			怒り感情との向き合い方・対処法（他者理解）			
第5回	5			クレーム対応／クレームの考え方			
第6回	6	メンタルヘルス コントロール		そもそもストレスとは？ストレスの捉え方			
第7回	7			ストレスの受け取り方／受け流し方を知っておこう			
第8回	8			幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9			幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10			自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11	アサーティブコミュニケーション		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①			
第12回	12			アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②			
第13回	13			言葉選びと伝え方			
第14回	14	試験		期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ		期末試験解説／FB			
初回持ち物		筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション（提出物）	
成績評価 基準（右記合計点）		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フレッシュヤーズスキル		クラス名	R2E		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		宮崎 愛子					
		実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要		1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標		・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし（適宜プリントを配布）					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い／社会人の評価基準				
第2回	2		信用と信頼／仕事を任せてもらえる人材になるために				
第3回	3	成果をあげる接客テクニック	価値基準からベネフィットの考え方を理解する				
第4回	4		傾聴カレッシン／ベネフィットを引き出すロールプレイング①				
第5回	5		傾聴カレッシン／ベネフィットを引き出すロールプレイング②				
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る				
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①				
第8回	8		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②				
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①				
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②				
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう				
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう				
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に”ありがとう”を伝える				
第14回	14	試験	後期 期末試験				
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ				
初回持ち物		筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション（提出物）	
成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		就職ガイド		クラス名	R2E	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位 2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位 1 単位
担当講師		新山 和子・大内 博子				
		実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。		
目的及び概要		就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。				
到達目標		就職活動を通じて、社会人としての理解を深め意識、心構えが出来るようになる。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	就職活動進捗確認	就職活動進捗確認			
第2回	2	オンライン/印象	オンラインの仕方/第一印象の重要性			
第3回	3	就職活動マナー	カバーレター・封筒の書き方・ビジネスメール			
第4回	4		ビジネス電話について(掛ける/受ける)			
第5回	5		報連相、オフィスマナー			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッションについて			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	一般常識	一般常識問題について(計算)			
第9回	9		一般常識問題について(漢字)			
第10回	10	時事問題	社会問題について			
第11回	11	社会人マナー	暑中・残暑見舞い、年賀状			
第12回	12	ハラスメント	ハラスメント(パワハラ・カスハラ)・動画			
第13回	13	プロ・アマ	プロとアマチュアの違い			
第14回	14	見つめなおす	エゴグラム・上司との付き合い方			
第15回	15	夢・目標	目標を叶えるために			
初回持ち物		筆記用具・就職ファイル・タブレット				
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験
		・定期試験や小テスト				実技試験
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	R2E	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める (R2A: 月1限／R2C: 水2限／R2D: 火1限／R2E: 木3限／R2F: 木3限)					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標／個人目標／リーダー・サブ決め／SAM選出				
第2回	2		マシュマロチャレンジ				
第3回	3	FUSに向けて	FUSについてアンケート(どのようなショーにしたいか)				
第4回	4		FUSについて内容				
第5回	5	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め／競技候補)				
第6回	6		競技について話し合い				
第7回	7		競技について話し合い				
第8回	8	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーション				
第9回	9		クラスコミュニケーション				
第10回	10	学園祭	学園祭について(出し物候補)				
第11回	11		学園祭について(役割決め／作成物)				
第12回	12		学園祭について(役割決め／作成物)				
第13回	13	期末試験について	夏休みの過ごし方／期末試験について／夏季休業中の登校につ				
第14回	14	行事準備	学園祭／スポーツ大会				
第15回	15	アンケート／振り返り	学校生活アンケート／前期振り返り				
初回持ち物		iPad					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	R2E	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	目標・FUS		後期目標／リーダー・サブ決め／FUSについて動画視聴			
第2回	2	FUS		FUSについて			
第3回	3	学園祭		企画書作成 / 概要詳細決め			
第4回	4	学園祭		ルール説明			
第5回	5	学園祭／スポーツ大会		概要説明			
第6回	6	スポーツ大会		出場競技決め			
第7回	7	スポーツ大会		ルール説明			
第8回	8	FUS		演出について			
第9回	9	FUS		各クラステーマ・コンセプト決め			
第10回	10	FUS		個人コンセプトシート作成・提出			
第11回	11	FUS		ウォーキングレッスン			
第12回	12	FUS		ウォーキングレッスン			
第13回	13	FUS		ウォーキングレッスン			
第14回	14	FUS		ウォーキングレッスン			
第15回	15	アンケート		学園生活アンケート			
初回持ち物		AIEノート、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		生理学		クラス名	R2E	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位 2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位 1 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること				
到達目標		お客様に体の構造の説明をできるようになることと、センター試験に合格すること				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		解剖生理学				
<授業計画>		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	心身生理学	Chapter13 脳の構造			
第2回	2	Chapter14	ホメオスタシス			
第3回	3	Chapter15	免疫			
第4回	4	Chapter16	ストレス			
第5回	5	Chapter17	心と肥満			
第6回	6	Chapter18	スキンタッチの効果			
第7回	7	心身生理学まとめ	センター試験問題集			
第8回	8	心身生理問題	センター試験問題集			
第9回	9	運動生理学	Chapter5 運動の必要性			
第10回	10	運動生理学	Chapter6 筋肉・呼吸器・運動の復習			
第11回	11	運動生理学	Chapter7～9 運動のプログラムと実際			
第12回	12	Cheapter9	Chapter7～9 運動のプログラムと実際			
第13回	13	運動生理学まとめ	センター試験問題集			
第14回	14	テスト	テスト			
第15回	15	返却	復習とまとめ			
初回持ち物		心身生理学の教科書				
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	化粧品の構成成分についての知識を深めて、説明できるようになる。					
到達目標	お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	化粧品学					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	化粧品学とは	化粧品の成分について			
第2回	2	法律とルール	化粧品の法律(薬機法について)			
第3回	3	基礎化粧品の品質	品質と特性			
第4回	4	基礎化粧品の分類	基礎化粧品の役割			
第5回	5	洗浄化粧品	クレンジング・洗顔の商品			
第6回	6	整肌化粧品	化粧水・乳液・クリームの商品			
第7回	7	活性化化粧品	美容液などの賦活化粧品			
第8回	8	メイクアップ料	役割と分類			
第9回	9	ベースメイク	ファンデーションなどの商品			
第10回	10	ポイントメイク料	アイメイク用品			
第11回	11	問題集	センター問題集			
第12回	12	問題集	センター問題集			
第13回	13	テスト対策	テスト対策			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説			
初回持ち物	教科書(化粧品学5番)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	サロンマネジメント&法規			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標	社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	サロンマネジメント&法規					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割			
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容			
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業			
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側			
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集			
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か			
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律			
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法			
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは			
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス			
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの&個人のSNS運用			
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について			
第13回	13	問題集	テスト対策			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説とまとめ			
初回持ち物	サロンマネジメント&法規の教科書					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		電気・機器学 & 美容脱毛学			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		電気に関して理解することで、美容機械に対する知識を深める。					
到達目標		機械の使用の原理を理解し、検定試験の問題を習得すること					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		電気学と脱毛学					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	電気学とは		電気機器学とは			
第2回	2	エステティック機器		施術用機器			
第3回	3	電気の原理		電気の基礎知識			
第4回	4	身体と電気の関係		エステ利用の電気について			
第5回	5	問題集		センター試験の問題			
第6回	6	脱毛学について		脱毛の歴史			
第7回	7	脱毛学概論		脱毛法の分類			
第8回	8	毛髪概論		毛とホルモン			
第9回	9	病気と脱毛		血液感染など			
第10回	10	衛生管理		衛生管理・滅菌・消毒			
第11回	11	カウンセリング		カウンセリングの盲点と要点			
第12回	12	ワックス脱毛		施術方法の分類			
第13回	13	問題集		センター試験の問題			
第14回	14	テスト		期末テスト			
第15回	15	返却		解説			
初回持ち物		電気機器学の教科書					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステ資格取得対策		クラス名	R2E		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師		石毛 彩花					
		実務経験	有	理論や実技で学んだ内容を振り返り、サロンで必要となる知識も含めながら、検定合格を目指す。			
目的及び概要		この授業の目的はセンター筆記試験「合格」を目的とした授業です。認定エステティシヤンの資格を取得する事で自身が活躍できる幅を広げることができます。エステティシヤンとして技術だけではなく基礎知識を持っていることも条件となります。 【進め方】定められた範囲の自習(15分)/20問程度のミニ模試(20分)/解説(15分)					
到達目標		AEA認定エステティシヤンセンター筆記試験合格 筆記試験本番2025年1月17日(金) ※試験の日程に合わせて授業の変動有り 放課後に補講を行います。合格点は80点					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		エステティシヤンセンター試験 筆記試験例題集					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	勉強と小テスト		エステティック概論、心身生理学 範囲全て			
第2回	2			皮膚科学 範囲全て			
第3回	3			解剖生理学範囲全て			
第4回	4	70問確認模試①		皮膚科学、解剖生理学 全範囲			
第5回	5	勉強と小テスト		栄養学 範囲全て			
第6回	6			関連法規、救急法、衛生消毒			
第7回	7			化粧品学、電気・機器学			
第8回	8			運動生理学・カウセリング・マネジメント			
第9回	9			フェイシャル実技理論・ボディ実技理論・ワックス脱毛			
第10回	10	100模擬試験		全範囲			
第11回	11	100問模試※期末試験		全範囲			
第12回	12	100模擬試験(放課後補講) 1/15		全範囲 ※合格点取れるまで帰れません			
第13回	13	模擬試験(放課後補講)1/16		全範囲 ※合格点取れるまで帰れません			
第14回	14						
第15回	15	検定本番 1/17		センター筆記試験本番			
初回持ち物		筆記用具、例題集、エステティック概論・心身生理学教科書					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティック実技理論			クラス名	R2E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	石毛 彩花 ・ 田村 舞					
	実務経験	有	実技で行うための基礎知識を習得させ、エステサロンでの経験を もとにフェイシャルのカウンセリング力を高めるよう指導する			
目的及び概要	技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めま す。お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアアドバイスな ど、実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。					
到達目標	センター技術力確認試験フェイシャル合格に向けて、ボディ実技の授業と運動し、 肌に触れることへの基礎を学んでいきます。 【フェイシャル実技理論】フェイシャル実技を行う上での基礎知識の習得 【カウンセリング】お客様とのコミュニケーションをはかり接客することができるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	フェイシャル実技理論/皮膚科学/化粧品学/栄養学					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	後期授業流れ	後期の流れについて・検定について・1年次復習			
第2回	2	ディープクレンジング	酵素・ハンド洗顔・スクラブ			
第3回	3	ディープクレンジング	吸引・エレクトロクレンジング			
第4回	4	フェイシャル機器	イオン導入・バター			
第5回	5	肌タイプについて	肌タイプについて・肌の見方			
第6回	6	肌に合わせた トリートメントプランが できるようになる	マッサージについて・コンサルシートの記入方法 (見本を照らし合わせながら確認)			
第7回	7		コンサル作成～完成			
第8回	8					
第9回	9					
第10回	10	センター対策	口頭試問についての説明・本番ペアの口頭試問カンペ作成			
第11回	11		センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問)			
第12回	12		センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問)カンペ作成完			
第13回	13		理論の期末試験出題範囲・本番のスケジュール説明			
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	答案返却	答案返却			
初回持ち物	筆記用具、実技ファイル、教科書(⑤フェイシャル実技理論)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		エステティック実技			クラス名	R2E	
1年単位		前期	4 単位	後期	4 単位	1年合計単位	8 単位
2年単位		前期	4 単位	後期	-	2年合計単位	4 単位
担当講師		石毛 彩花 ・ 田村 舞					
		実務経験	有	エステサロンでの経験からサロンでのニーズに即した対応力、マナー等を伝え、ボディ技術を習得する。			
目的及び概要		センター試験合格に向けて、ディープクレンジング、フェイシャル機器、マッサージ、パック、についてを学び、肌状態に合わせてフェイシャルコースの選択が出来るように知識、技術を身に付けていきます。 2年生前期の目標『人から真似される人になる』を心がけて行動していきましょう					
到達目標		クレンジング、ディープクレンジング、フェイシャル機器、マッサージ、パックの知識や技術を習得し、肌タイプ・お悩みに合わせたコース選択をし、センター試験の合格を目指していきます。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－4	クレンジング・マッサージ強化	クレンジング・マッサージ強化				
第2回	5－8	スクラブ	Pクレ・クレンジング・スクラブ(デモ)・マッサージ練習				
第3回	9－12	酵素	Pクレ・クレンジング・酵素(デモ)・マッサージチェック				
第4回	13－16	カウンセリング・パック	Pクレ・クレンジング・カウンセリング・マッサージパック練習				
第5回	17－20	選択したディープクレンジング	カウンセリング・ディープ・マッサージ・パック				
第6回	21－24	センター実技試験練習	試験モデルに合わせたコースで練習 Pクレ・クレ・カウ・ディープ・マッサージ・パック コンサルシート・口頭試問				
第7回	25－28						
第8回	29－32						
第9回	33－36						
第10回	37－40	センター試験対策	模擬試験前練習・コンサル・口頭試問強化				
第11回	41－44						
第12回	45－48	期末・模擬	期末試験・模擬試験				
第13回	49－52	フィードバック	フィードバック 調整練習				
第14回	53－56	検定試験本番	センター実技試験本番				
第15回	57－60	お楽しみ	お楽しみ				
初回持ち物		□筆記用具 □メモ帳 □ロープ □シーツ □タオル6枚(うち2本HOTタオル)□5色ペン □鏡 □タイマー □ビニール袋 □実技ファイル □タオルハンカチ又はハンドタオル □マスク □キャミソールとくつ下 ※着用してくること					
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上	
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上	
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上	
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ブライダルネイル			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	-	2年合計単位	3 単位
担当講師		大久保 香織					
		実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要		ウェディングにはウェディングネイルの知識が必要です。その為、ジェル検定初級の知識を勉強していきます。幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかりと学び、必要なカウンセリング、チップ制作を行うことでお客様の要望に対応できる知識と技術を身につけます。目指し爪と指先の知識をしっかりと取得していきます。					
到達目標		ジェルネイル検定初級授業を行い検定取得を目指す。 パーティー・ウェディング用のチップ制作が出来るようになる。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		JNAテクニカルベーシック・JNAテクニカルジェル					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－3	初級要項確認		初級要項確認			
第2回	4－6	初級編		ジェルについて、筆記問題解説			
第3回	7－9	初級試験対策 実技 ジェルの塗り方		カラーリング			
第4回	10－12			ピーコック・オフ			
第5回	13－15			通し練習			
第6回	16－18	初級試験対策 試験要項実技練習		60分タイムトライアル練習 プレパレーション～ポリッシュ塗布～ ジェル塗布～ピーコック			
第7回	19－21						
第8回	22－24						
第9回	25－27						
第10回	28－30						
第11回	31－33						
第12回	34－36	期末試験		期末試験			
第13回	37－39	検定試験		検定試験			
第14回	40－42	ウェディングネイルチップ作成		ドレスに似合うネイルデザインを考えチップ作成			
第15回	43－45						
初回持ち物		JNAテクニカルベーシック・JNAテクニカルジェル・ネイルノート・3級道具・初級道具(1年後期配布済みの道具)・ 筆記用具・はさみ・サインペン(細い) ・セロハンテープ					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		メイク＆ヘアアレンジメント			クラス名	R2E	
1年単位		前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位		前期	4 単位	後期	3 単位	2年合計単位	7 単位
担当講師		浅岡 久美					
		実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、ブライダルや撮影の経験をふまえヘアアレンジとメイクアップを指導する。			
目的及び概要		①メイク検定2級合格に向けたメイクテクニックを学びます。 ②1年時習得した基礎となるヘアアレンジやメイクアップの技術力を向上させ、ウェディングの場面で必要となるテクニックや知識を学びます。					
到達目標		①メイク検定2級合格。 ②お客様の要望にお応えできるヘアメイクの提案と、技術を身に付けることを目標とします。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		日本メイクアップ技術検定公式テキスト2, 3級					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－4	検定対策1	アイメイク(アイブロウ～マスカラ)、リップ				
第2回	5－8	検定対策2	ベースメイク(下地～チーク、ハイライト、ローライト)				
第3回	9－12	検定対策3	クレンジング～ベースメイク				
第4回	13－16	検定対策4	トータル練習1				
第5回	17－20	検定対策5	トータル練習2				
第6回	21－24	検定対策6	タイムトライアル1				
第7回	25－28	検定対策7	タイムトライアル2				
第8回	29－32	検定対策8	タイムトライアル3				
第9回	33－36	模擬テスト	JMA2級検定試験練習				
第10回	37－40	2級検定日	JMA2級検定試験				
第11回	41－44	夜会1	基本のアップスタイル				
第12回	45－48	夜会2	基本のアップスタイル				
第13回	49－52	期末テスト練習	夜会				
第14回	53－56	期末テスト	夜会				
第15回	57－60	テーマ別HM	テーマを決めヘアメイク				
初回持ち物		検定用メイク用品一式、テキスト、ベースメイクのみしてくる					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点計)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	メイク&ヘアアレンジメント			クラス名	R2E	
1年単位	前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位	前期	4 単位	後期	3 単位	2年合計単位	7 単位
担当講師	浅岡 久美					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、ブライダルや撮影の経験をふまえヘアアレンジとメイクアップを指導する。			
目的及び概要	1年時習得した基礎となるヘアアレンジやメイクアップの技術力を向上させ、ウェディングの場面で必要となるテクニックや知識を学びます。 ウェディングプロジェクトと連動し花嫁の希望に沿った髪型とメイクの提案ができることを目標としています。半期ごとに実施するウェディングプロジェクトで技術のスキル向上を目指します。					
到達目標	お客様の要望にお応えできるヘアメイクの提案と、技術を身に付けることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－3	白塗り	和装ブライダル、アートメイク、ボディメイクなどの下地作り			
第2回	4－6	特殊メイク	アザ、傷			
第3回	7－9	ハロウィンメイク	ハロウィンヘアメイク			
第4回	10－12	夜会1	基本のアップスタイル			
第5回	13－15	夜会2	基本のアップスタイル			
第6回	16－18	リアルウェディングリハーサル練習	リアルウェディングリハーサルのための練習			
第7回	19－21	リアルウェディングリハーサル	リハーサル当日			
第8回	22－24	リアルウェディング最終練習	リアルウェディングに向けて最終練習			
第9回	25－27	年代別メイク1	1920～1990年代のヘアメイクの変遷			
第10回	28－30	年代別メイク2	2000年代のメイクの特徴			
第11回	31－33	真似っこメイク	アイドルなど有名人の真似っこヘアメイク			
第12回	34－36	エイジングメイク	シミ、しわなど、老けメイク			
第13回	37－39	期末テスト練習	ブライダル年代メイク			
第14回	40－42	期末テスト	ブライダル年代メイク			
第15回	43－45	FUSにむけて	FUSのヘアメイク練習			
初回持ち物	メイク道具一式、メイクはしてきてOK					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ブライダル概論		クラス名	R2E		
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		片山 彩					
		実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、 婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要		ウエディングにとって、ご成約いただいたお客様と信頼関係を築きながら当日までのお打ち合わせを進めることは、責任を伴う重要な業務の一つです。 成約～当日まで、スケジュールに基づいて、商品ひとつひとつの知識と打ち合わせの進め方、手配方法を取得していきます。					
到達目標		打合せスケジュールに基づいて商品知識を身に付け、打ち合わせの進め方、手配方法を理解する。結婚式に伴う費用の流れを理解する。新規接客の基礎、成約～当日～アフターフォローまでの一連の流れを理解する。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード(日本ブライダル文化振興協会)					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	振り返り	オリエンテーション / 期末テストの解説・昨年度の振り返り				
第2回	2	ブライダル業界研究	ブライダル業界で働くということ・企業から求められる人物像				
第3回	3	コーディネーター業務	セールスと施行 / 担当制と分担制				
第4回	4	ブライダルマーケティング	ブライダル業界のトレンド / セールス・広告 / ブライダルフェア				
第5回	5	新規業務①	会場選定から成約までの流れ / ブライダルセールスの特徴				
第6回	6	新規業務②	プレゼンテーション / アフターフォロー / 成約業務				
第7回	7	打合せ業務	成約後～最終打合せまでの流れ				
第8回	8	披露宴	披露宴の流れと意味を理解する				
第9回	9	衣装選定	新郎新婦の洋装・和装の基礎知識				
第10回	10	花の管理・出回り時期	花の管理 / 季節花・周年花 / 装花の手配				
第11回	11	ブライダルにおける空間デザイン	コーディネートのお考え方 / イメージ				
第12回	12	会場コーディネート	会場コーディネートの考え方 / テーブルコーディネート				
第13回	13	料理	結婚式の料理 / 飲物 / ウエディングケーキ				
第14回	14	期末テスト	期末テスト				
第15回	15	解説	テスト返却 / 解答・解説				
初回持ち物		iPad・ブライダルコーディネーターテキスト・筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ブライダル概論			クラス名	R2E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、 婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	ウエディングにとって、ご成約いただいたお客様と信頼関係を築きながら当日までのお打ち合わせを進めることは、責任を伴う重要な業務の一つです。成約～当日まで、スケジュールに基づいて、商品ひとつひとつの知識と打ち合わせの進め方、手配方法を取得していきます。					
到達目標	打合せスケジュールに基づいて商品知識を身に着け、打ち合わせの進め方、手配方法を理解する。結婚式に伴う費用の流れを理解する。新規接客の基礎、成約～当日～アフターフォローまでの一連の流れを理解する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード(日本ブライダル文化振興協会)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	ブライダルにおける空間デザイン	コーディネートのお考え方 / イメージ			
第2回	2	料理	結婚式の料理 / 飲物 / ウエディングケーキ			
第3回	3	ペーパーアイテム①	招待状 / 席札 / 席次表 / メニュー表			
第4回	4	ペーパーアイテム②	ペーパーアイテムの手配			
第5回	5	披露宴の演出	披露宴の演出プラン / 演出手配			
第6回	6	引出物・引菓子	引出物・引菓子とは / 地域の特徴 / 引出物の手配			
第7回	7	記録・記念アイテム	記録写真 / 様々な記念アイテム / 記録・記念アイテムの手配			
第8回	8	ヘアメイク	ヘアメイク / ネイルアート / 手配について			
第9回	9	当日業務①	挙式・披露宴の進行表の作成			
第10回	10	当日業務②	当日のコーディネーター業務 / 当日のアテンド業務			
第11回	11	当日業務③	テーブルセッティング / 当日のサービス業務			
第12回	12	プレゼンテーションの手法	コンセプトシートの作成 / プレゼンテーション			
第13回	13					
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	振り返り	テスト返却 / 解答・解説			
初回持ち物	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード / 筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ウェディングスタイリスト			クラス名	R2E	
1年単位		前期	2 単位	後期	2 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位		前期	3 単位	後期	2 単位	2年合計単位	5 単位
担当講師		内 垣 和					
		実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、 婚礼を主にウェディングプランナーの業務に携わる。その経験からウェディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要		ウェディングフォトの基礎知識を習得する。					
到達目標		コンセプトにあわせたフォトウェディングの企画、提案ができる。 「WEDDING PHOTO AWARD」での入賞を目指す。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		JWSA③WEDDING PHOTO					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－2	自己紹介・結婚式とは	オリエンテーション・自己紹介/結婚式の今				
第2回	3－4	ウェディングフォトとは	カメラと写真・ウェディングフォトの歴史と特徴				
第3回	5－6	ウェディングスタイリスト [PHOTO]	ウェディングカメラマンの接客・業務と必要なスキル				
第4回	7－8	ウェディングフォトの商品	ウェディングフォトの商品ラインナップとその特徴				
第5回	9－10	カメラの基礎知識	カメラの機能、カメラとスマホの違いと特徴を生かした撮影・実践 構図やアングルを学び状況に応じた効果的な撮影・実践				
第6回	11－12	スタジオ撮影	記念写真のポージングや集合写真の並び方と撮影上の注意点				
第7回	13－14	スナップ撮影	結婚式の進行とスナップ写真の撮影テクニック				
第8回	15－16	ロケーション撮影	ロケーション撮影・前撮り・フォトウェディングの撮影・実践				
第9回	17－18	スナップ・ロケーション撮影実践	一眼レフカメラで撮ってみよう				
第10回	19－20	ロケーション撮影準備	チームごとに分かれロケーションフォトの企画と準備をする				
第11回	21－22	ロケーション撮影	チームごとに新婦の装い(ドレス・ヘアメイク)で ウェディングフォトを撮影する				
第12回	23－24	〃					
第13回	25－26	定期試験対策	定期試験・JWSA WEDDING PHOTO認定試験対策				
第14回	27－28	定期試験・JWSA認定試験	定期試験・JWSA WEDDING PHOTO認定試験				
第15回	29－30	振り返り	定期試験の振り返りと認定用写真発表				
初回持ち物		テキスト【JWSA③WEDDING PHOTO】・筆記用具・スマートフォン					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ウェディングスタイリスト			クラス名	R2E	
1年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、 婚礼を主にウェディングプランナーの業務に携わる。その経験からウェディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	ブライダル空間コーディネートの基礎知識を学ぶ。 また結婚式当日のフोटospacesの背景やブーケ・ブートニア・ヘアードの制作実践等を通して、効果的な空間作りを学び、オリジナルウェディングを実践する力を養う。					
到達目標	コンセプトに合わせた空間コーディネートが企画・提案できる。 衣装や会場に合わせたブーケ・ブートニアが提案・制作できる。 ウェディング スペース スタイリストの認定取得を目指す。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JWSA③WEDDING PHOTO					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－2	ウェディングスペースとは	オリエンテーション / ウェディングスペースとは			
第2回	3－4	コーディネートの基礎知識	基礎知識 / ウェディングフラワー / カラーコーディネート			
第3回	5－6	コーディネート	テーマに合わせたコーディネートを実践			
第4回	7－8	会場コーディネートの効果	会場セッティング / 少人数ウェディングのコーディネート			
第5回	9－10	コーディネートのバリエーション	挙式会場 / バンケット / ガーデンのコーディネート			
第6回	11－12	テーマウェディング	アンティークウェディング			
第7回	13－14	制作	テーマに合わせたブーケ・ブートニア・ヘアードを制作する			
第8回	15－16					
第9回	17－18	コンセプトウェディングの作り方	カウンセリング・コンセプトシートの作成			
第10回	19－20					
第11回	21－22					
第12回	23－24	プレゼンテーション	コンセプトウェディングの作成・プレゼンテーション			
第13回	25－26					
第14回	27－28	期末試験	期末試験・WEDDING SPACE認定試験			
第15回	29－30	振り返り	テスト返却 / 解答・解説			
初回持ち物	テキスト④ WEDDING SPACE / 筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ウェディングプロジェクト			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	3 単位	2年合計単位	5 単位
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、 婚礼を主にウェディングプランナーの業務に携わる。その経験からウェディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	結婚式の候補者の募集から結婚式当日までの期間スケジュールに基づき、打合せの進め方、結婚式に必要な部門と手配方法、提案内容、アテンドの仕方を実践的に学ぶ。 ※お客様のご来校の際は全員スーツ着用					
到達目標	結婚式を創る実践を通して、現場力を養うことを目標とする。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード / JWSAテキスト①～③					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－2	オリエンテーション	リアルウェディングの趣旨とスケジュール / 結婚式の心得			
第2回	3－4	集客	募集の仕方、集客の仕方			
第3回	5－6	チーム編成	チーム編成			
第4回	7－8	コーディネート	テーマに合わせたコーディネート			
第5回	9－10	お客様選定	候補者の決定 / お客様情報の共有			
第6回	11－12	打合せ準備	初回打合せに向けての準備			
第7回	13－14					
第8回	15－16	身だしなみ・言葉遣い	お客様対応の仕方			
第9回	17－18	リハーサル	打合せロープレ			
第10回	19－20					
第11回	21－22	初回打合せ	初回打合せ			
第12回	23－24	内容打合せ	前回の打合せの振り返り / 内容提案に向けての準備			
第13回	25－26	リハーサル	打合せロープレ			
第14回	27－28					
第15回	29－30	2回目打合せ	内容打合せ			
初回持ち物	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード / JWSAテキスト①～③ / 筆記用具 / メモ					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	ウェディングプロジェクト			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	3 単位	2年合計単位	5 単位
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、 婚礼を主にウェディングプランナーの業務に携わる。その経験からウェディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	新郎新婦へ心のこもったカウンセリングを行い、真の気持ち引き出し、正しい情報を元にプランニングを施す。計画された業務において、自身の役割を理解し、行動する。リアルウェディングを通して、ブライダルに携わる醍醐味と、仕事に対する責任感と達成感を体験、体感する。					
到達目標	結婚式を、新郎新婦が満足いく形で成功させる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード / JWSAテキスト①～③					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－2	前期の振り返り	前期の打合せ内容の振り返り / スケジュール確認			
第2回	3－4	リハーサル・制作	打合せロープレ / 制作			
第3回	5－6	打合せ③	前回の打合せの確認 / 内容提案			
第4回	7－8	最終まとめ	最終打合せに向けての準備 / 制作			
第5回	9－10	打合せ④	最終打合せ・確認			
第6回	11－12	制作	ウェディングアイテムの制作・仕上げ / スケジュール作成			
第7回	13－14					
第8回	15－16	リハーサル	本番を想定したリハーサル			
第9回	17－18					
第10回	19－20	フィードバック	フィードバック / 残務 / 片付け			
第11回	21－22	写真セレクト	撮影した写真のセレクト			
第12回	23－24					
第13回	25－26	データ制作	セレクトした写真データ作成			
第14回	27－28	期末テスト	レポート			
第15回	29－30	リアルウェディングのまとめ	フィードバック / 新社会人に向けて			
初回持ち物	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード / テキストWEDDING FASHION・BEAUTY・PHOTO・SPACE					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ドレススタイリング			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	3 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位		前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師	片山 彩						
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、 婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。				
目的及び概要		お客様に対してドレス・メンズフォーマルのフィッティングができるスキルや立ち居振る舞いを学び、実践を通して身につける。お客様のご要望、イメージや体型、会場等の条件にあわせた衣装のトータルコーディネートを実践し、提案力を習得する。					
到達目標		ドレス・メンズフォーマルを正しく、美しく、スピーディーにフィッティングができる。お客さんのご要望、イメージや体型、会場等の条件に合わせた衣装、小物を提案できる。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		JWSA WEDDING FASHION					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－2	ドレススタイリストとは		オリエンテーション / ドレススタイリスト業務、必要な心構えとス			
第2回	3－4	ドレスフィッティング		サイズの見方 / ドレスフィッティング手順の確認と復習			
第3回	5－6	メンズフォーマルフィッテング		サイズの見方 / メンズフォーマルフィッティング手順の確認と復			
第4回	7－8	トータルコーディネート①		衣装選びのポイント、イメージ別・会場別のトータルコーディネート			
第5回	9－10	トータルコーディネートの実践①		イメージと会場を設定してトータルコーディネート&プレゼンテーシ			
第6回	11－12	トータルコーディネート②		体型別のトータルコーディネート			
第7回	13－14	トータルコーディネートの実践②		体型に合わせたトータルコーディネート&プレゼンテーション			
第8回	15－16	リアルウエディングに向けて①		リアルウエディングに向けての準備			
第9回	17－18	リアルウエディングに向けて②		リアルウエディングに向けての準備			
第10回	19－20	ロープレ①		衣装合わせロープレ①			
第11回	21－22	ロープレ②		衣装合わせロープレ②			
第12回	23－24	衣装合わせ①		初回衣装合わせ(接客)			
第13回	25－26	打合せフィードバック		初回衣装合わせのフィードバック / 次回衣装合わせに向けて			
第14回	27－28	定期試験		実技試験			
第15回	29－30	定期試験振り返り		フィードバック / ドレスクリーニング準備			
初回持ち物		iPad・筆記用具・JWSA①テキスト・白手					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ドレススタイリング			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	3 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位		前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師		坂田 依智子					
		実務経験	有	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ドレススタイリストとして15年間、ドレスショップや式場、ホテルの現場にて接客から結婚式当日対応までの婚礼衣装のレンタル業務、また責任者として店舗の売上管理、部下の育成、新卒採用にも携わる。			
目的及び概要		カウンセリング～フィッティングまでのロールプレイングを中心に、衣裳案内を実践して習得する。ドレススタイリストの結婚式当日の心構えを理解し、当日対応できるテクニックを身につける。					
到達目標		リアルウェディングにて、衣装決定までの案内ができ、結婚式当日は衣装担当としてお客様に寄り添いながらフィッティング、結婚式の進行に適した対応ができる。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－2	ドレススタイリストとは		オリエンテーション／ドレススタイリスト業務、必要な心構えとスキル			
第2回	3－4	ドレスフィッティング		サイズの見方、ドレスフィッティング手順の確認と復習			
第3回	5－6	メンズフォーマルフィッティング		サイズの見方、メンズフォーマルフィッティング手順の確認と復習			
第4回	7－8	トータルコーディネート①		衣装選びのポイント、イメージ別・会場別のトータルコーディネート			
第5回	9－10	トータルコーディネートの実践①		イメージと会場を設定してトータルコーディネート、プレゼンテーション			
第6回	11－12	トータルコーディネート②		体型別のトータルコーディネート			
第7回	13－14	トータルコーディネートの実践②		体型にあわせたトータルコーディネート、プレゼンテーション			
第8回	15－16	トータルコーディネート③		カラードレスの選び方、コーディネート方法			
第9回	17－18	トータルコーディネート④		メンズフォーマルの選び方、コーディネート方法、ネクタイの結び方			
第10回	19－20	グループワーク①		グループワークにてトータルコーディネートの提案書を作成			
第11回	21－22	グループワーク②		前回作成した提案書をもとにコーディネートの実践プレゼンテーション、提案書の提出(小テスト)			
第12回	23－24	ドレス・メンズフォーマルフィッティング		実技試験に向けてフィッティング練習			
第13回	25－26	ジュエリー		ブライダルジュエリーについて			
第14回	27－28	定期試験		実技試験(ドレス・メンズフォーマルフィッティング)			
第15回	29－30	定期試験振り返り、フィードバック		実技試験の振り返り、フィードバック			
初回持ち物		筆記用具、白手袋					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		カラーデコレート		クラス名	R2E	
1年単位		前期	1 単位	後期	-	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位 2 単位
担当講師		岡永めぐみ				
		実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有し、ブライダルの分野では新郎新婦のパーソナルカラー診断や希望に応じたブーケや小物に至るものをデザイン、制作しトータルでカラーコーディネートを担当しているため、より実践的な指導が出来る。		
目的及び概要		ブライダルにおいて必要となるカラーの知識を講義だけでなく、ブーケや和装で使われる水引、会場装飾を実際に作ることで、実践的な知識を身につけていきます。お花や水引の様々な色の中からどの色を選ぶかという「配色」を重点的に学び、イメージに合った配色が出来ているかをそれぞれが作った作品を通してクラス全員で共有しながら、ウェディングブーケや水引の技術も習得していきます。				
到達目標		・なりたいイメージや体型、ドレスに合ったブーケを作る事が出来る ・ブライダルにおける水引の決まりを理解し、結び方をマスター出来ている ・色彩心理を理解し、その知識を生かしながらオーダー通りの作品を作ることが出来る				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－2	リボンワーク	様々なリボンの形を理解し、実際に作成する			
第2回	3－4	色彩心理を理解する	1年次に行った色彩心理の復習と2色の配色展開			
第3回	5－6	配色	アンダートーン配色・イメージ別配色1			
第4回	7－8	配色	イメージ別配色2			
第5回	9－10	配色	シーン別の配色・配色ゲーム			
第6回	11－12	配色	自分の好きなイメージのブライダル配色提案/ボード作成			
第7回	13－14	配色	ボード作成/発表			
第8回	15－16	ブライダルジュエリーの基本	ブライダルジュエリーの基本や注意点を知る			
第9回	17－18	ブライダルジュエリーの実践	基本をもとに実際ジュエリーを身に付けコーディネート全体をコーディネートする			
第10回	19－20	水引	水引の決まりを理解する			
第11回	21－22	水引	あわじ結び・梅結び			
第12回	23－24	個人制作／試験	作業手順の説明/試験			
第13回	25－26	個人制作	卒業制作			
第14回	27－28	個人制作	卒業制作			
第15回	29－30	個人制作 発表	発表と総括			
初回持ち物		筆記用具、色彩活用パーソナルカラー検定3級の教科書・カラーカード・ハサミ・のり				
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験
		・定期試験や小テスト				実技試験
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)
成績評価 基準(右記合点計)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		ブライダルエステ			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		エステ講師					
		実務経験	有	理論た実技で学んだ内容を振り返り、サロンで必要となる知識も含めながら実際にサロン運営を行います。			
目的及び概要		センター試験内容である機器学を勉強しながらもウエディングプロジェクトと連動し、1、2年で学んだエステティックの技術と知識を披露することが目的の授業です。ブライダル概論で深めた知識を実践で施します。挙式までの期間に花嫁の悩みを技術を提供することで解決することを目標としています。					
到達目標		カウンセリング力の向上・リアルウエディングの成功と満足感を高める。 ※スケジュールにより内容の変更あり					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書							
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－2	ボディ	【機器】低周波				
第2回	3－4		【機器】超音波・バイブレーション				
第3回	5－6	フェイシャル	クレンジング・超音波・ピールオフパック				
第4回	7－8	肌トリートメント	背中orデコルテエステ【スクラブ・パック】				
第5回	9－10	リアルウエディングエステ	ブライダルエステ練習 ※お客様への施術				
第6回	11－12						
第7回	13－14						
第8回	15－16		ブライダルエステお仕上げ				
第9回	17－18	応用エステ	カッピング&ホットストーン				
第10回	19－20		イオン導入・石膏パック				
第11回	21－22		足湯・角質ケア・バンテージ				
第12回	23－24		WAX脱毛				
第13回	25－26		チョコレートパック				
第14回	27－28		期末テスト対策				
第15回	29－30	期末テスト	期末テスト				
初回持ち物		ギャルソン・エステファイル・筆記用具・ハンカチ・メモ帳・ビニール袋・タイマー・シート・ローブ・フェイスタオル6枚※スケジュールによって内容の変動あり					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ブライダルエステ概論			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	エステ講師					
	実務経験	有	理論や実技で学んだ内容を振り返り、サロンで必要となる知識も含めながら、実際にサロンを運営を行い検定合格を目指す。			
目的及び概要	センター試験内容である機器学を勉強しながらもウェディングプロジェクトと連動し1、2年で学んだエステティックの技術・知識を深めるの授業です。ブライダル概論で深めた知識をブライダルエステで実践します。挙式までの期間に花嫁の悩みを技術を提供することで解決することを目指しています。					
到達目標	カウンセリング力、提案力の向上。リアルウェディングの満足度を高める。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書						
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	応用機器理論	低周波機器について			
第2回	2		バイブレーション機器・超音波機器について			
第3回	3	ブライダルエステとは	ブライダルエステについて			
第4回	4	リアルウェディングに向けて	フェイシャル機器・パックの種類について			
第5回	5		コースプランニング			
第6回	6		リアルウェディング概要決め			
第7回	7		リアルウェディング概要決め			
第8回	8		リアルウェディング最終確認			
第9回	9		リアルウェディング最終確認			
第10回	10	応用機器理論	メジャーリング方法・バンテージ			
第11回	11		ホットストーン・カッピングについて			
第12回	12		ワックス脱毛について			
第13回	13	期末対策	期末対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	返却			
初回持ち物	エステ実技ファイル、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		3級ブライダルコーディネーター検定対策			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師		片山 彩					
		実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要		1年時から学んできたブライダル業界の歴史や基礎知識をもとに、結婚式の企画や衣装、ヘアメイク、演出、料理・飲物に至るあらゆる知識の理解を確認する目的の授業です。3級ブライダルコーディネーター検定資格取得を 目標としています。					
到達目標		3級ブライダルコーディネーター検定の全員合格を目指します。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード(日本ブライダル文化振興協会)					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	オリエンテーション		試験概要について/力試しの小テスト			
第2回	2	2014年度・2015年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第3回	3	2016年度・2017年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第4回	4	2018年度・2019年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第5回	5	2018年度・2019年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第6回	6	2020年度・2021年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第7回	7	2020年度・2021年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第8回	8	2022年度・2023年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第9回	9	2022年度・2023年度		過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習			
第10回	10	模擬テスト		本番を想定したテスト・解説			
第11回	11	模擬テスト		本番を想定したテスト・解説			
第12回	12	期末試験		期末テスト・解説			
第13回	13	模擬テスト		本番を想定したテスト・解説			
第14回	14	模擬テスト		本番を想定したテスト・解説			
第15回	15	模擬テスト		本番を想定したテスト・解説			
初回持ち物		ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード / 筆記用具 / クリアファイル					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		和装着付け			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	-	2 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	3 単位	後期	-	2年合計単位	3 単位
担当講師		溝畠 奈緒美					
		実務経験	有	和装の基礎知識や技術を習得するとともに、お客様への対応や着物の選び方も指導していく。			
目的及び概要		和装全般に興味をもつようにその仕組みや注意事項などを実践に即して授業を行う					
到達目標		訪問着、振袖など着物の他装の仕組みを理解し実践できる					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－3	訪問着着付け①		着物～帯結び			
第2回	4－6	訪問着着付け②		着物～帯結び			
第3回	7－9	訪問着着付け③		着物～帯結び			
第4回	10－12	小テスト		訪問着の着付け試験			
第5回	13－15	振袖着付け①		補正～長襦袢			
第6回	16－18	振袖着付け②		着物～帯結び(お太鼓系)			
第7回	19－21	振袖着付け③		着物～帯結び(お太鼓系)			
第8回	22－24	振袖着付け④		着物～帯結び(立矢系)			
第9回	25－27	振袖着付け⑤		着物～帯結び(文庫系)			
第10回	28－30	試験		振袖着付け試験			
第11回	31－33	花嫁衣裳の着付け		補正～着物			
第12回	34－36	花嫁衣裳の着付け		補正～帯結び			
第13回	37－39	花嫁衣裳の着付け		トータル			
第14回	40－42	卒業袴の着付け		着物～袴			
第15回	43－45	卒業袴の着付け		着物～袴			
初回持ち物		筆記用具 ネームペン 和装小物					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ショー対策			クラス名	R2E	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	篠あけみ					
	実務経験	有	パリ・コレクションを始め様々なコレクションへ出演。モデルスクールで後進の指導にあたるほか、一般企業向けのファッションショーのプロデュースや、一般人向けのセミナー等の活動も行っている。			
目的及び概要	各会社の中でのイメージアップ 女性としての知識力向上ときれいな立ち振る舞い					
到達目標	責任感と達成感					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	知識	ファッションの成り立ち きれいに見えて健康的な体の使い方・姿勢等			
第2回	2					
第3回	3					
第4回	4	センス	撮影のためのドレス選び 白物または色物どちらか1点			
第5回	5					
第6回	6					
第7回	7	対応力	ドレス撮影 撮影をする時のきれいに見えるコツなど			
第8回	8					
第9回	9					
第10回	10	状況把握力	椅子の座り方 ジャケット・コートの正しい脱ぎ方・たたみ方 ウォーキング			
第11回	11					
第12回	12					
第13回	13	持続力	筆記試験 実技試験 ウォーキング			
第14回	14					
第15回	15					
初回持ち物	ノート、ペン					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ライフカラー検定			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	2 単位	後期	-	2年合計単位	2 単位
担当講師		石井 いつ子					
		実務経験	有	日本カラーコーディネーター協会認定のカラーリストが実務経験を活かし、色彩の基本的な知識や色を見分ける力を養いながら、自身の色彩センスとイメージに沿った提案力を養う授業を展開していきます。			
目的及び概要		色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。美容業界で求められるカラーコーディネート技術を、カラーワーク実習を通して身に付け、色彩の大切さと楽しさを日々の生活や現場に活かす方法を学んでいきます。また、検定受験に向け、適宜問題集やプリント、小テスト(解説有)を実施していきます。					
到達目標		美容業界で求められるカラーコーディネート技術を身に付け衣食住(空間)へと活かせる力を養う					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		色彩活用ライフケアカラー検定公式テキスト 色彩学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－2	オリエンテーション	美容業界と色の重要性・色のぼたろぎ・カラーコーディネートとは色の名前				
第2回	3－4	色のしくみ①	色の三属性(色相・明度・彩度)				
第3回	5－6	色のしくみ②	トーンとは・トーンの領域・トーンのイメージ				
第4回	7－8	色のイメージと効果	色とトーンのイメージを使った実習				
第5回	9－10	配色ルール①	色相を基準にした配色				
第6回	11－12	配色ルール②	トーンを基準にした配色				
第7回	13－14	色の心理的効果	色の心理と三属性の関係				
第8回	15－16	光と色	色はなぜ見えるのか・光の種類				
第9回	17－18	色名	系統色名・慣用色名				
第10回	19－20	配色ルール③	グラデーション・ドミナント(カラー/トーン)				
第11回	21－22	配色ルール④	アクセントカラー・セパレーションカラー				
第12回	23－24	配色応用・復習	ファッション写真によるカラー分析				
第13回	25－26	期末試験対策	過去問題・問題集より抜粋				
第14回	27－28	期末試験	検定試験実施・返却				
第15回	29－30	期末試験解説・検定対策	期末試験解説と検定に向けての練習問題				
初回持ち物		色彩活用ライフケアカラー検定公式テキスト 色彩学 / 新配色カード199a / のり / はさみ 新配色カード199用演習用台紙 / 筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		パーソナルカラー検定			クラス名	R2E	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		黒川裕子					
		実務経験	有	各種専門学校において、色彩検定、パーソナルカラー検定を10年以上指導。企業様や団体様に向けて、セミナーやイベントなども多数開催している。			
目的及び概要		☆美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色やパーソナルカラーの基本から取り入れ方まで、カラーワーク、コラージュ作成などの演習を通して身につけて表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施し、理解度の確認をしていきます。					
到達目標		色彩の基本、パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。 色彩活用パーソナルカラー検定3級取得を目指す。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1-2	オリエンテーション 色彩の基本①		パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性と色相環。カラーワーク 演習			
第2回	3-4	色彩の基本②		トーン(しくみ、イメージ)			
第3回	5-6	パーソナルカラーの色分類①		パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について①			
第4回	7-8	パーソナルカラーの色分類②		パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について②			
第5回	9-10	色名・色素とは		色名、色素について			
第6回	11-12	色素と似合う色の関係①		色素の見方①			
第7回	13-14	色素と似合う色の関係②		色素の見方②			
第8回	15-16	色素と似合う色の関係③		色素の見方③とまとめ(自分の色素について)			
第9回	17-18	似合う色と似合わない色について		似合う色と似合わない色の見え方、色と光の関係			
第10回	19-20	ドレーピング実習		ドレーピング実習			
第11回	21-22	似合う色の見え方の理由		対比・同化、面積効果			
第12回	23-24	似合う色の取入れ方		似合う色の取入れ方、ポイント			
第13回	25-26	検定対策		期末テスト、検定に向けて総まとめ			
第14回	27-28	期末テスト		期末テスト			
第15回	29-30	期末テスト返却・振り返り		返却・振り返り・検定対策			
初回持ち物		教材一式全4点(①パーソナルカラー検定公式テキスト3級、②公式問題集 ③新配色カード199用演習用台紙(ピンクの袋ごと)、④新配色カード199)、はさみ&のり、筆記用具 * 全て使用します！					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				